

豊寿園

FRUITFUL TREE

豊かな樹

Autumn 2023

Vol. 60

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOUJYUEN

TOPICS

AREA INFORMATION

HOUJYUEN×FAMILY

HOUJYUEN'S ALBUM



トピックス
T O P I C S

夏休みの子供さんを対象に講習会！

8月8日に、門司区松ヶ江北校区の小学生を対象とした講習会に荒木係長、坂根係長、飯田介護主任が出講しました。当日は、高齢者の体を装具を使って体験してもらいました。

豊寿園では、介護・福祉の専門職による講習会を受け付けています。内容に応じて、施設で働く職員を派遣しますので、お気軽にご相談ください。



消防訓練を行いました！

9月13日に、夜間帯に施設内で出火したことを想定した消防訓練を行いました。豊寿園では、夜間帯は介護職員5名と警備員1名しかいません。6人でどのように協力して火元を発見、消火、避難誘導するかの手順を訓練しました。空気の乾燥する季節を前に、万一の事態に備えています。



デイサービスの運営推進会議を開催！

9月20日に、デイサービスの運営推進会議を3年ぶりに開催しました。コロナ禍で書面での開催を余儀なくされていましたが、当日は利用者様ご家族、地域、行政の方にご出席いただき、運営状況や課題などについて検討を行いました。



ケアプランセンターのご紹介！

豊寿園ケアプランセンターは、4月よりケアマネジャー2名体制になりました(写真左 坂根在宅介護係長、写真右 尾茂田ケアマネジャー)。認知症ケアに関する豊富な経験を持つケアマネジャーが在宅での生活を支援させていただきます。介護保険やケアプランについてお気軽にご相談ください。

○お問い合わせ TEL 093-481-1151

地域ぶらり情報



気兼ねなく過ごせる場所・・・

門司港レトロから新門司方面へ向かい、長谷口信号より223号線（田野浦港線）に入り道なりに進むと、道沿いの住宅地にトレードマークの黄色いドアの『喫茶ポシェット』があります。自分の家の居間のような、自宅の延長上な感じで、男性女性と気兼ねなく気軽に過ごせる場所を作りたいと思い、元々実家だった家を改装して2023年8月にオープンしました。お店の玄関を開けると、知り合いの家にお邪魔するかのような感じです。テーブル席と畳の席があり、テーブルとして使っているお茶の箱や間仕切りに使われている棚、座布団の色合い、振り子時計など部屋の色々なところに昭和レトロを感じられます。ドリンクやシフォンケーキ等のカフェメニューですが、おすすめは自家製クラフトコーラです。ショウガやレモンなどスパイスが8～9種類入っていて、きび砂糖を使用しているので甘さもさっぱりです。シフォンケーキは門司中央市場のkuroshibasChiffonを提供していますが、日によってはケーキ類の内容は変更されます。これからも、美味しいと思うものを提供していき、ゆっくりと過ごしていただきたいです、と店主さん。ぜひ一度、昭和レトロを感じにお店へ行かれてみてはいかがでしょうか？

『喫茶ポシェット』

北九州市門司区谷町1-7-35
 OPEN 11:00～17:00
 店休日 火・水曜日
 駐車場 2台



あとなぎ

運動の秋です。今年の春から一念発起ジムに通っています。理由は妻に「みっともない・・・」と言われたことと、近くにコンビニ型のジムが出来たこと。入職当時から10kg以上増えた体重を、貫禄という言葉で片付けるのは止めよう、と半年間続けています。体力もつき、なんとなく体形の変化を感じられることが楽しくなってきました。さぞかし、痩せただろうと臨んだ健康診断。思っていたような成果は出ておらず心が折れそうになりましたが、妻からの心無い言葉を見返してやるべく、もう半年間はコツコツ頑張ってみようと思っています。やはり、目標に向かって頑張ることは大切ですね。

豊寿園でも、利用者様に笑顔になっていただく、という目標達成のため日々、職員は頑張っています。その取り組みのすべてはこの豊かな樹でご紹介していきます。今後の豊寿園にぜひ、ご期待ください。

豊寿園広報担当 森 英樹



今回の
 COVER

今回表紙を飾ってくれたのは、岡田 和己(おかだかずみ)さんです。デイサービスのイケおじとして勤務されていましたが、9月をもって事情により退職されました。最後の雄姿を見せたい、と私服に着替えて門司港レトロでの撮影に参加してくれました。

あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回は、今年3月に豊寿園でお看取りさせていただきました後藤一男様の利用開始から最期の時までの経過について、園内の記録をもとにご紹介します。



今回ご紹介する後藤一男様。怒りっぽいけど優しい、頑固なお父さんという感じの方でした。

— 独居生活になったところから
認知症の症状が出現。 —

後藤様は3人兄弟の長男として福岡県田川市でお生まれになり、若い頃は三井炭鉱で事務職として働かれました。戦時中は衛生兵として従軍され、戦後、再び炭鉱での仕事に復帰し結婚、息子さんが生まれたのちに、転勤となり門司へ移ってこられました。息子さんの独立後は奥様と二人暮らしでしたが、奥様体調を崩されたのちから施設に入所され独居生活になったところから認知症の症状が出現しました。夜間に近所を歩かれては、近隣宅のドアを叩いて回ったり、自宅内外での転倒も見られ

るようになったため、令和元年10月に豊寿園ショートステイの長期連続利用を経て、特養に入所されました。昔ながらの頑固おやじ、という雰囲気の後藤様は、気に入らないことがあれば大声で怒鳴ったり、介助中も何かあれば「なんかー、やるんかー」と周りに喧嘩を売ってきたり、と大変な面もありましたが、お酒や仕事の話などをすると豪快に笑っている姿が周りを惹きつける、とても魅力的な方でした。

— 息子さんは関東にお住まいですが、
定期的に戻ってこられてはご本人
との面会をされていきました。 —

入所当初は転倒が心配な状況でしたが、介添えがあれば歩行も可能で、食事も自分で摂られていました。3年ほどで徐々に身体機能は低下してききましたが、それでも、頑固おやじな面は維持され、職員とも楽しそうに話をされ過ごされました。息子さんは関東にお住まいですが、定期的に戻ってこられてはご本人との面会をされていきました。そんな後藤様も、令和4年になると日常生活全般に介助が必要になり要介護5になりました。一日の中で居眠りされている時間が増えていき、起きら

れず、食事を摂れないことが見られるようになってきました。また、日中に居眠りされていることから夜間に入眠出来ず、昼夜が逆転していききました。令和4年の夏になると、食後に痰が絡むことが見られるようになってきました。昼夜の逆転は日中の覚醒を促しても改善せず、一日のうちで1食は起きられず摂れないことが増えていきました。都度の状況を息子さんへ報告していましたが、7月に息子さんの帰省にあわせて嘱託医との面談機会を設定、医師からの状況説明を受けていただきました。息子さんは「これまで色々な大病をしてきて、そのたびに手術したりしているの、年をとってこれ以上の積極的な治療などは受けさせたくないです。」と言われ、園内での看取り介護を希望されたため、関東住まいの息子さんには万一の際に、間に合わない可能性が高いことを説明し看取り対応を開始することになりました。痰の吸引で苦しい思いをさせないよう、食事の提供量を調整し、痰が絡む頻度は改善していきました。ベッドでの生活が長くなつていきましたが、起きられている時間は職員との会話を楽しまれ普段と変わらない笑顔が見られていました。

— 新型コロナウィルスのクラスターが発生。
後藤様も感染され療養生活を送られることになりました。 —

HOUJYUEN × Family

8月になり全国的に新型コロナウイルスが大流行する中、豊寿園で初めての新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。利用者様、職員ともに感染していく中で、ついに、後藤様も感染され療養生活を送られることになりました。幸い、重症化することなく経過し10日程度で普段の生活に戻られました。食事は安定して摂取することが出来ていましたが、昼夜の逆転は続いていました。夜に起きられていると「おい」と人を呼ばれ、職員がお声掛けすると「抱っこしてくれ」と甘えられることもあり、頑固おやじから少し気弱な一面が見られるようになっていきました。秋ごろから再び痰が絡むことが増えてきたため、再度、食事の量を減らすなどの調整をしましたが、令和5年1月に入ると起きられず、さらに咽こみが強くなり食事の摂取量が曲端に低下していきました。代わりに、息子さんに準備していただいた焼酎や甘酒などを口に運ぶとしっかりと吸われる様子が見られました。日中は寝て夜は起きて職員を呼ぶ、という日々が続いていきました。その間も息子さんは関東からテレビ電話などを使い、ご本人と面会され、職員から近況をお伝えしました。

2月になると食事、水分はさらに摂取量が低下していき、オムツ内の排泄量も徐々に減少していきました。

—その時のご本人はとても穏やかな表情をされていました。—

3月になると、いよいよ口から摂取することが難しくなり、呼吸も浅くなっていきました。息子さんに状況をお伝えすると、出張のついでに面会に来られ、数日を園内でご本人と一緒に過ごされました。室内で息子さんがお仕事をされていると、ご本人が手を差し出し、その手を息子さんが握られています。その時のご本人はとても穏やかな表情をされていました。

3月に入って1週間で完全に口から食事、水分を摂ることはできなくなりました。連泊されていた息子さんも関東へ戻らなければならなくなり、後ろ髪をひかれながら関東へ戻られました。



面会に来られた息子さんと撮影した写真。
ご本人もお気に入りだったため、最期の時まで、枕もとにはこの写真が飾られていました。

3月10日 日中は痰が絡むことなく呼吸も穏やかでした。お声掛けすると、「はい」と返答されていました。夕方から呼吸が浅く、早くなっていきました。夜間になると呼吸が乱れるようになり、肩で呼吸されるようになっていきました。

日付が変わるとすぐに呼吸がさらに荒くなったため、息子さんへ状況報告のために電話連絡をすると「朝になったら面会に行こうと思っています。今、ちょうど門司に帰ってきています。すぐに行きます。」とのお返事。電話から10分ほどで来園されました。職員が詰めかけたお部屋にお連れすると、枕もとでご本人に「来たよ！」と声掛けをされました。その直後、呼吸が完全に確認できなくなりました。

嘱託医師の診察の後、ご本人の体を整え、息子さんが持つてこられていた、お若い頃に來てらしたスーツに着替えていただき、園からの出発を見送らせていただきました。

怒りっぽいけど、人との会話が大好きで、時々、気弱な面を見せられる後藤様。ずっと枕もとに飾っていた、息子さんと二人で映った写真の嬉しそうな笑顔を私たちは忘れません。

敬老会



9月 記念の御年を迎えられた方々へお祝い状をお渡しし、ご家族と記念撮影をしていただきました。



豊寿園
アルバム

夏祭り



8月 浴衣を着ていただいたり、スイカを割ったりと、夏の思い出をつくりました。

デ イ サ ー ビ ス

文化祭見学



9月 JR小倉駅へ光の文化祭のためにみなさんで作った作品を見学に行きました。

敬老のお祝い



9月 敬老のお祝いで家族と記念写真を撮る。

おやつ作り



9月 お彼岸におはぎを作りました。上手にあんこで包んで美味しくできました。

七夕飾り



7月 願いをこめて短冊を飾りました。

保育所交流



7月 久しぶりの保育園児との交流で元気をいただきました。

autumn2023

Vol . 60

TOPICS

AREA INFORMATION

HOJYUEN*FAMILY

HOJYUEN'S ALBUM



FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOJYUEN